

表彰状と記念撮影 (2022年12月)



～上尾丸山公園水辺再生事業 みんなの持続「力・緑」～



第42回 緑の都市賞

都市緑化機構会長賞に

選ばれました!

上尾丸山公園での外来種駆除や湿地整備などの協働による取組が、第42回緑の都市賞を受賞した。地域本来の自然の再生と水質回復を進めると共に、地域社会の活性化に貢献していることが評価された。これまでの取組と成果について紹介する。

### 緑の都市賞

明日の緑豊かな都市づくり・まちづくりを目指し、緑の保全・創出活動に卓越した成果を上げている市民活動団体及び企業等、並びに公共団体を顕彰する制度。主催は公益財団法人都市緑化機構。埼玉県からはこれまでに20数件が受賞しており、上尾市は初めての受賞。

上尾丸山公園では、大池の水質悪化と外来魚増加に対処するために、2019年に開園以来初めてのかいぼりを実施した。池底の干し上げなどの作業により外来魚の根絶に成功。かいぼり後には池底が見通せるまでに透明度が回復するなどの成果があった。

2020年春からは、かいぼりでは対処できないアメリカザリガニなどの駆除をスタート。冬には大池に浅場をつくり、生物の生息環境を整備している。

こうした取組により、大池では肉食性の外来魚のいない状態が現在も維持されている。在来種の魚やエビが増加し、水鳥のカイツブリが繁殖するようになった。園内の湿地では、外来植物キシヨウブを駆除した後に絶滅危惧種ミズアオイが発芽。埼玉県内で数少ない自生地となった。

これらの取組は、かいぼりを機に公募したボランティア「上尾水辺守」と上尾市を中心に、作業イベント「みんなで水辺守」の参加者の協力も得て行われてきた。これからも協働による取組を継続し、上尾丸山公園の生物多様性の再生を進めていく。

カワセビ



大池上流浅場 (2022年4月)



大池かいぼり 魚とりの様子 (2019年12月)



テナガエビ



# 上尾丸山公園 自然再生の歩み

2019年

できごと

自然の状況

- 2月 かいぼりシンポジウム
- 10月 上尾水辺守結成
- 12月 上尾丸山公園  
「大かいぼり祭」



2020年

- 2月 大池かいぼり「泥かき連」  
イベントで浅場を2ヶ所整備
- 3月 かいぼり終了
- 4月 水生生物モニタリング  
& アメリカザリガニ防除開始
- 7月 園内の湿地整備に着手
- 8月 イベント「みんなで水辺守  
アメリカザリガニ駆除編」  
開始
- 12月 大池池干し



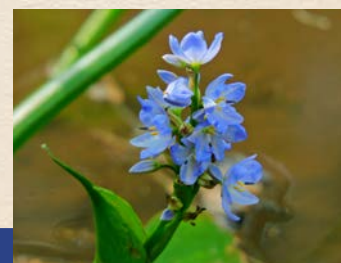
◆カイツブリ初繁殖  
6月と10月に幼鳥出現

2021年

- 3月 大池池干し終了
- 4月 水生生物モニタリング  
& アメリカザリガニ防除2年目
- 5月 イベント「みんなで水辺守  
アメリカザリガニ駆除編」2年目
- 12月 大池池干し



◆カイツブリ2つがい  
◆手入れをした湿地で  
絶滅危惧種ミズアオイ初確認



2022年

- 2月 イベント「みんなで水辺守 浅場編」  
大池に浅場を1ヶ所新設
- 3月 大池池干し終了
- 4月 水生生物モニタリング  
& アメリカザリガニ防除3年目
- 5月 イベント「みんなで水辺守  
アメリカザリガニ駆除編」  
3年目
- 7月 上尾水辺守2期生募集
- 11月 緑の都市賞受賞



◆チョウトンボを10頭確認